



**IKW**

**取扱説明書**

コンセント・スイッチなどの  
スイッチボックス取り付け防火・防音処理部材

**耐火遮音コンセント・  
スイッチボックスカバー**

国土交通大臣認定番号： PS060WL-0710 (壁・中空壁(木軸対応))※スイッチボックスカバー - 1~2 個用  
PS060WL-0495 (壁・中空壁)※スイッチボックスカバー - 3~4 個用

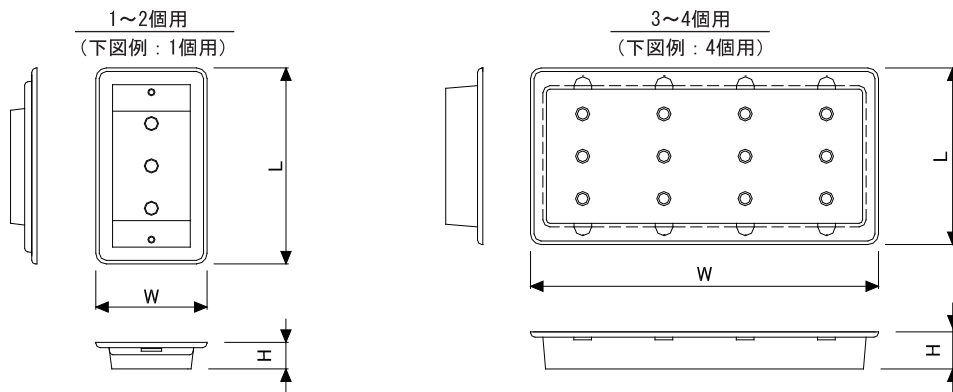
**⚠️ ご注意**

1. 防火区画貫通にご使用の場合は、コンセント、スイッチなどのない状態での国土交通大臣認定です。  
(コンセント、スイッチなどにご使用の場合は、事前に所轄の官公庁にご確認願います。)
2. 施工は内線規定に基づいて行ってください。
3. ご使用の際は、本取扱説明書をよくお読みください。
4. ケーブル貫通用の抜き穴とケーブルの間に隙間が生じると音漏れの原因となります。貫通ケーブルのサイズを確認してから、抜き穴の設定を行うようにしてください。
5. 作業される場合は、手を傷つける恐れがありますので、軍手などを着用してください。

**■ 製品仕様**

耐火遮音コンセント・スイッチボックスカバー (IKW)

<http://www.firepro.jp/>



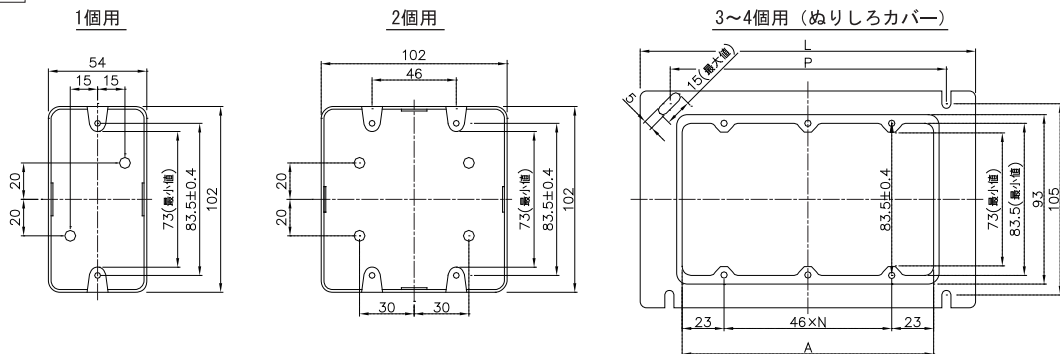
製品寸法

(単位:mm)

型番	金属製スイッチボックス (JIS C 8340品)	L	W	H
IKW-1	1個用スイッチボックス (ぬりしろカバー無しタイプ)	111	63	15
IKW-2	2個用スイッチボックス (ぬりしろカバー無しタイプ)		111	
IKW-3	3個用スイッチボックス (ぬりしろカバー有りタイプ)	100	151	21
IKW-4	4個用スイッチボックス (ぬりしろカバー有りタイプ)		197	

参考資料

対応金属製スイッチボックス (JIS C 8340) 規格



種類	3~4個用 各部の寸法			
	L (mm)	P (mm)	N	A (mm)
3 個用	184	152	2	138±0.5
4 個用	230	198	3	184±0.5

**INABA DENKI**

**因幡電機産業株式会社**

<http://www.firepro.jp/>

●生産技術本部 技術開発センター 技術部 ☎(06) 6618-1784 FAX (06) 6618-1787

### ① スイッチボックスの設置

- 金属製スイッチボックスを設置し端部付属品を設置後、PF管・CD管を配管します。

〈注意〉必ず、金属製スイッチボックス（JIS C 8340品）をご用意ください。

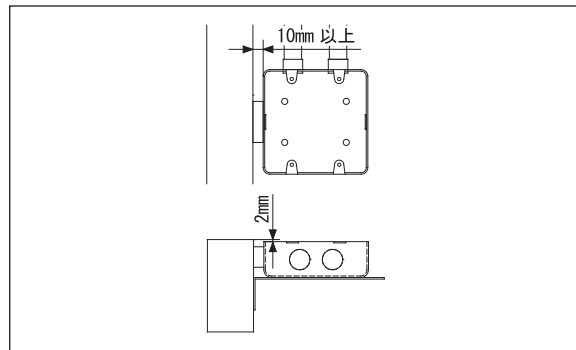
- 1～2個用には、ぬりしろカバー無しタイプ、
  - 3～4個用には、ぬりしろカバー付きタイプをご用意ください。
- (P1参考資料参照)

- 設置の際は、柱や梁などに直接固定せずスペーサーなどで10mm以上あけて設置します。

〈注意〉10mm以上あけていないと本製品が柱や梁などに干渉し施工できなくなります。

- 耐火遮音コンセント・スイッチボックスカバーに厚み（2mm）があるため取り付け位置は、通常の位置よりも2mmほど奥側に設置してください。

〈注意〉通常通りに取り付けますと耐火遮音コンセント・スイッチボックスカバーの分だけ壁内へ入ってしまうためスイッチプレートなどが取り付けにくくなります。

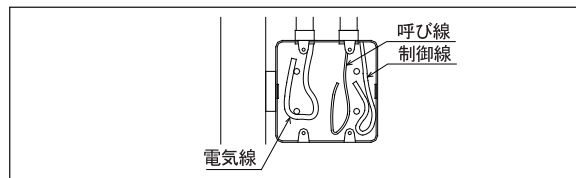


### ② 配線の挿入

- 金属製スイッチボックス内に引き込む配線をすべて引き込みます。

この際、弱電用の呼び線も挿入してください。

(右図は一例です。)



### ③ 耐火遮音コンセント・スイッチボックスカバーの取り付け

- 耐火遮音コンセント・スイッチボックスカバーの半抜き穴を配線する本数分だけドライバーなどの先端で突き破ってください。φ8以下の配線を通す場合は半抜き穴を切り取らず、キリなどで配線の外径より小さめに穴を開け、貫通させてください。

- 耐火遮音コンセント・スイッチボックスカバーには、金属製ボックスにスイッチ類を固定するツメ部を貫通させるスリットがあります（1～2個用）ので、方向を確認して上記で抜いた穴に配線を通してください。

- 1～2個用の金属製スイッチボックスのツメ部に耐火遮音コンセント・スイッチボックスカバーのスリット部を片側ずつはめ込み設置してください。

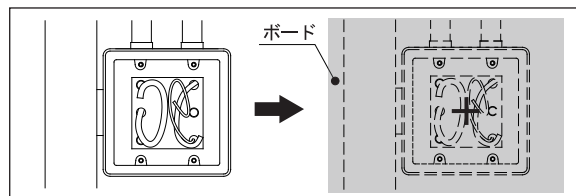
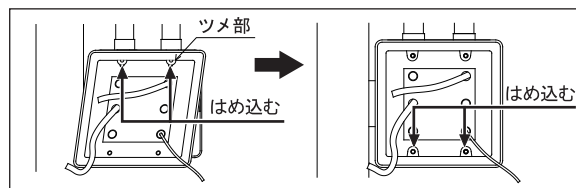
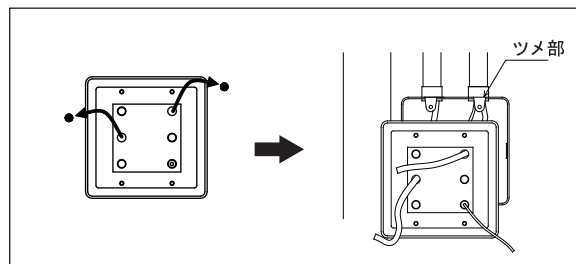
3～4個用の耐火遮音コンセント・スイッチボックスカバーは、ぬりしろカバーにかぶせるように設置します。

この際、スイッチ類を固定するねじ穴が隠れないように調整してください。

〈注意〉ゴムが変形した状態では、壁に密着されず音が漏れる場合があります。

- ボードを貼る際の邪魔にならないように配線類は、耐火遮音コンセント・スイッチボックスカバー内に収めます。

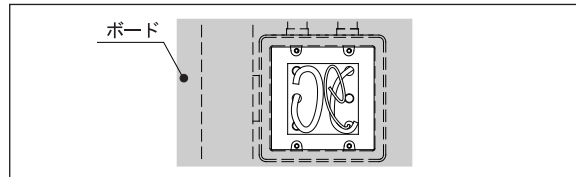
- ボードを貼り付ける前に金属製スイッチボックスの位置が判るようにマーキングなどを行ってください。



### ④ ボードの穴あけ

- ボードにケーブル支持材などを取り付ける穴を開けます。

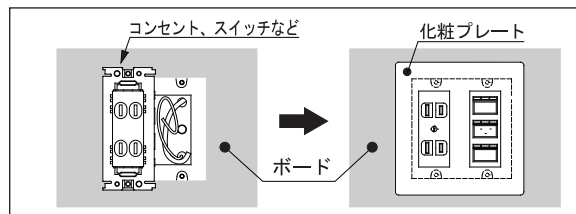
その際、耐火遮音コンセント・スイッチボックスカバーを破いたり切り取ったりしないように注意してください。電動工具での作業の場合は、ボードの厚さ+1mm程度の深さに設定して開口してください。



### ⑤ 副資材の設置

- コンセント、スイッチ、取り付け枠などの機器と配線をつなぎ、最後に化粧プレートを取り付けて完成です。

〈注意〉防火区画にご使用の場合は、事前に所轄の官公庁にご相談ください。



### ⑥ コンセント・スイッチボックス用耐火パテ(IKA) または、シリコン系シーリング材の充填

- あらかじめPF管・CD管の貫通穴を開け、ボードを貼り付けます。

- 壁内に引き込み側のPF管・CD管とボードの隙間にコンセント・スイッチボックス用耐火パテ(IKA)を22mm以上※1)、または市販のシリコン系シーリング材※2)を25mm以上充填してください。

※1: 1～2個用スイッチボックスをご使用の場合

※2: 3～4個用スイッチボックスをご使用の場合

